

施策1 「ごみを出さないライフスタイル」の普及（ごみの発生抑制）

(3) 環境教育、意識啓発の推進（計画書 P29-P30）

A 事業	B 取り組み内容	C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
① 環境教育の 充実	<p>自治会等を対象とした分別説明会を継続</p> <p><概要> 適正なごみ処理を実施していくには、収集時の分別が正しく行われていることが基本になることから、分別について学ぶ機会の提供が必要です。自治会等と連携した講座や説明会等で情報を提供し、1人ひとりに意識啓発をしていくものです。</p>	継続	<p>●分別説明会実施の実績はない。</p>	<p>●要望を受け説明会を行うが、町民に十分認識されていない。</p>	同資料5「出前講座の利用促進」に集約	<p>●引き続き各種講座等の機会を活用し、ごみの発生抑制、減量化・資源化の意識啓発をしていく。</p> <p>●説明会の機会があることを、積極的にPRしていく。</p>
	<p>小学生を対象とした社会科見学の受入</p> <p><概要> 小学生を対象としたごみ処理施設見学を通じて、環境問題に触れる機会の提供と環境意識の向上を図ります。</p>	継続	<p>●宮代町内の小学校4校が例年申込をしている。</p> <p>【実績】 令和2年度…2校（コロナ禍の影響有） 令和元年度…4校 平成30年度…4校</p>	<p>●実際に処理施設を見学出来る貴重な機会であるため、小学校からは例年申込が続いている。</p> <p>●実際に見学した小学生や学校からは、ごみを出さないこと、分別の大切さや仕事の大変さ等が分かったとの内容の手紙や文集などをいただいている。</p>	同資料4「学校でのごみの学習の実施」に集約	<p>●引き続きごみ処理や施設見学の講義を実施し、環境意識の向上を図る。</p>
	<p>小学生教育用ホームページを設置</p> <p><概要> ごみ処理や減量化、資源化について、小学生が理解し、実践できるよう衛生組合のHP内に掲載しています。</p>	継続	<p>●衛生組合HPに小学生用ページというコンテンツを作成している。</p> <p>●クイズ等を用いて楽しく学ぶ機会を提供している。</p> <p>【掲載内容】 ・衛生組合の仕事 ・衛生組合の施設 ・ごみと資源 ・ごみを減らすには ・分別クイズ</p>	<p>●小学生用ページに関しての反響は特になし。</p>	継続	<p>●町HP等、様々な媒体を活用して継続。</p>

A 事業	B 取り組み内容	C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
	<p>(★) 学校でのごみの学習の実施</p> <p><概要> 循環型社会の形成に向けた正しい知識と行動を習得してもらうため、学校での環境教育・環境学習を推進します。ごみ検定等の取組を検討します。</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校4年生用の副読本「みやしろ」において、ごみ処理の学習ページあり。 ●宮代町子ども環境会議や宮代町キッズエコサミットを通して、環境問題への意識を高めている。 ●中学校の保健体育で、ごみの処理、循環型社会と3R、環境物質と健康への影響、近年の環境問題とその対策について学習。 ●学校からの依頼を受け、衛生組合では、清掃センター見学が困難な小学校を対象に、依頼に基づき実施（久喜市で実績有） 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習を通して、ごみ問題への関心が高まり、家庭でのごみを減らそうという意欲につながっている。 ●「食品ロス」についても児童、生徒が自ら考え、減らしていく取り組みが行われている。 【参考：給食喫食率（R3.1）】 小学校 97.7%、中学校 97.0% ●衛生組合には、小学生や学校からは、ごみを出さないこと、分別の大切さや仕事の大変さ等が分かったとの内容の手紙や文集などをいただいている。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、学校の授業でごみ処理について学ぶ機会を取り入れていく。
	<p>(★) 出前講座（ごみの発生抑制等）の利用促進</p> <p><概要> ごみの減量化、資源化等についての学びの機会を提供し、1人ひとりのレベルでのライフスタイルの見直しに向けた意識啓発をするものです。</p>	推進	<ul style="list-style-type: none"> ●宮代町の出前講座のメニューには入っていない。 ●久喜市の出前講座のメニューには、座学 ver. と施設見学 ver. があり。 <p>【実施状況】 平成30年度 みやしろ大学 「げんりょう化（原料・減量）大作戦」 参加者数 148人 ※衛生組合へ直接依頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●町、衛生組合において出前講座のメニューとして制度化をしていない。 	推進	<ul style="list-style-type: none"> ●町の出前講座のメニューとして制度化する。
	<p>(★) リサイクル拠点施設の整備について調査・検討</p> <p><概要> 資源回収とリサイクル等環境教育を学ぶ拠点づくりの整備に向けた調査・検討を行うものです。</p>	推進	<ul style="list-style-type: none"> ●調査・検討は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな施設整備の動きはない。 	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ●人材活用やソフト事業により環境教育を促進する手法をとり、施設整備は行わない。
	<p>(★) ごみの発生抑制、減量化・資源化ハンドブックの作成</p> <p><概要> ごみの発生抑制、減量化・資源化の推進、正しい知識の共有のためハンドブックを作成します。</p>	推進	<ul style="list-style-type: none"> ●ハンドブック形式にとられず、広報紙やホームページを通じて、ごみの発生抑制、減量化・資源化の働きかけを行っている。新たな印刷物の発行の予定はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハンドブック形式であると、即時の情報更新が難しい。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ●取り組み名を「ごみの発生抑制、減量化・資源化にかかる情報発信」に変更。 ●ハンドブックという形にとられず、様々な媒体で減量化等について周知していく。

A 事業	B 取り組み内容	C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
	<p>(★)「ごみ減量アドバイザー資格制度」の検討</p> <p><概要> 町内でごみの減量化や資源化に関する豊富な知識を身につけ、地域における専門家として活躍する「ごみ減量アドバイザー」の育成を検討します。住民活動や講座の開催等を通して広く町民へ意識啓発を行う役割を担ってまいります。</p>	推進	●特段の取組みは行っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●他県で実施している例がある(廃棄物減量等推進員と内容が似ている)。 ●制度を実施した場合、自身で専門的な知識をお持ちの方の声を広く周知出来る機会が増える。 ●育成方法の検討が必要 	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ●県の環境アドバイザー制度を活用する。 <p>※埼玉県環境アドバイザー 豊富な経験や知識を有し、地域での環境保全活動や環境学習等に対して指導及び助言等を行う人。151人(R3.6.22時点)が登録している。</p>
② 意識啓発の 推進	<p>施設見学の受入</p> <p><概要> ごみ処理施設見学の機会を提供し、ごみ処理の現状・課題の周知とごみの発生抑制、減量化・資源化に対する意識啓発を図ります。</p>	継続	●小学生以外の施設見学について、宮代町では実績はない。	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生の社会科見学の他に、施設見学の機会を提供できる。 ●久喜市市民大学において施設見学の受け入れ実績があり、意見集約は行っていないが、概ね好評と考えている。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ●取り組み名を「施設見学の機会の提供」に変更。 ●施設管理者と連携、見学の機会を提供し、引き続き意識の向上を図る。
	<p>町民まつり、イベントへの参加</p> <p><概要> 地域の行事やイベント等を活用し、ごみの発生抑制、減量化、資源化に対する意識啓発を行います。</p>	継続	<p>●町民まつりや、みやしろ産業祭に参加。のぼり旗や、啓発品配布、アンケート調査の実施。内容は、イベントの客層(年齢層)に合わせて対応。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別アプリをダウンロードしてマイバッグをもらおう ・生ごみたい肥化資料の配布、生ごみ処理機の展示、分別クイズ <p>【調査内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグの使用に関するアンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> ●のぼり旗や啓発品配布による意識啓発ができる。 ●アプリダウンロード数の増加促進による利便性向上や正しいごみ出しルールの周知ができる。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ●取り組み名を「イベントでの啓発」に変更。 ●引き続き町のイベントでの啓発を行い、意識の向上を図る。
	<p>「ごみを減らしてきれいな街づくり表彰制度」を継続</p> <p><概要> 日頃から、ごみの減量化やリサイクル推進の活動を積極的に行う個人や団体を表彰し、活動に対するモチベーション向上の一助とするものです。</p>	継続	<p>●5部門で表彰(各部門5点以内)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①きれいな街づくり推進団体部門 ②減量推進事業所部門 ③ノーレジ袋キャンペーン部門 ④マイバッグコンテスト部門 ⑤特別功労部門 <p>※過去3年間、①・②・⑤は宮代町の実績無し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●次の2部門は令和2年度で終了 ③ノーレジ袋キャンペーン標語部門 ④マイバッグコンテスト部門 <p>※①・②も応募数が厳しい状況が続いている。</p>	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ●町表彰制度の基準に該当した場合に表彰。 ●県関係の表彰等の活用。

A 事業	B 取り組み内容	C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
	<p>(★) ごみ分別優良アパート認定制度の検討</p> <p>＜概要＞ ごみの分別が徹底されており、集積所の衛生管理が行き届いているアパートを認定して、HP等で紹介することにより、他のアパートにおける取り組みを喚起するものです。</p>	推進	●検討は行っていない。	●アパートのごみ分別は、アパートの管理業務の一環で行われることが一般的であるため、これに対する表彰制度はなじまないと考えられる。	廃止	●アパートの入居者に限らず、町内への転入者に対する分別意識の啓発を、表彰によらない形で行う。
	<p>(★) ごみ袋デザインの検討</p> <p>＜概要＞ ごみの分別排出に関心のない人にも、ごみについて考えてもらうきっかけとなるようなごみ袋のデザインを検討します。</p>	推進	●検討は行っていない。	●指定袋に入れてよいもの以外のごみの種類が混入されていることがある。	同資料7「ごみの発生抑制、減量化・資源化ハンドブックの作成」に集約	<p>●啓発につながるごみ袋デザインを検討していく。</p> <p>●ごみ袋の機能等工夫出来る点を検討していく。</p> <p>●情報媒体の1つとして、意識啓発にごみ袋を活用していく。</p>
	<p>(★) ごみ分別アプリの導入</p> <p>＜概要＞ スマートフォン等の携帯端末の普及を考慮し、町民が分別方法やごみの発生抑制、減量化・資源化の方法について知りたいときにすぐに検索ができ、情報を分かりやすく伝えられるようにするものです。</p>	推進	●導入済 令和2年度末ダウンロード数累計 13,107件 (前年度実績 9,405件) ※衛生組合全体	<p>●ダウンロード数の増加を見ても、多くの方に利用していただいている結果が表れている。</p> <p>●今後の更なる利便性向上のため SNS等を活用することも考えられる。</p>	集約	<p>●導入事業としては終了</p> <p>●今後は施策1(2)の「情報提供のあり方の工夫」でごみ分別アプリの更なる向上を推進する。</p>
	<p>(★) 生前整理の推進</p> <p>＜概要＞ 町においては、高齢化が進んでおり、遺品が大量に残ってしまう恐れがあるため、少しでも生前整理をするように啓発します。</p>	推進	<p>この取り組みについては、施策5「高齢化等の社会状況に対応した適正な収集・運搬」に移し、そちらで改めて検討します</p>		施策5に集約	●施策5「高齢化等の社会状況に対応した適正な収集・運搬」の高齢者へのごみ出し支援策として検討する。
	<p>★：これまでの取り組みに加えて実施する、あるいは特に力を入れて実施する取り組み (H29.4 策定時)</p>					